



編集と発行

### 金木町企画室

青森県北津軽郡金木町  
 大字金木字朝日山323  
 電話 ☎ 2111 内線240

# いっしょにまつりだ!



## 主な内容

	P	P
嘉瀬地区子ども会	2	顔..... 6・7
育成会が合宿		各社会教育関係名簿..... 8
日本生命財団より	3	各種制度適用一覧表..... 9
和太鼓助成		金木病院カルテ..... 10
澄みわたる吹奏楽の調べ	3	戸籍の窓..... 10
まわし姿もりりしく	4	
「はっけよい」		
学校部活動紹介	5	

## 人口と世帯

	7月末現在	前年同月比
男	6,238人	△ 110人
女	6,844人	△ 123人
計	13,082人	△ 233人
世帯数	3,881	

# 自主・思いやり・連帯

## 嘉瀬地区子ども会育成成会が合宿

子どもたちの自主性とおもいやり、そして連帯感を養おうと嘉瀬地区子ども会

も元気にバス二台に分乗して出発。

かなと心配している父兄を尻目に、さまざまな遊びを工夫していた。

てキャンパファイヤー。トーチをかざすのが慣れないせいか、あぶなっかしい手つきにハラハラすることもあったが自分だけの『炎』に満足げ。

寝つかれない子がいたり、朝四時ごろには起き出す子もいるなど、翌朝大人だけが眠そうだった。

育成会が木造町の野外活動施設「屏風山の家」に七月二十日、二十一日の一泊二日、子どもと父兄合わせて九十人程で合宿した。

屏風山の家についてからも雨が降ったりやんだりとすくれない空模様。結局テント設営が無理とわかり、子どもたちは一番楽しみにしていたテント生活ができず残念がった。それでも小学校一年生から中学生までの班を六班編成し、何をす

たお陰で一番被害を被ったのがお母さん方。一緒に子どもたちと夕食の豚汁などを作るはずが、流しが狭いために自分たちだけで作る羽目に！

夕食後は雨の合間を見て花火大会。施設全体が花火の煙と歓声に包まれた。テントでないために大広間に全員が毛布一枚でザコ寝。コウフンしてなかなか

今回の合宿は、六月九日に行われた「子ども虫まつり」に続いての行事で子どもたちにとって楽しい思い出となった。嘉瀬地区子ども会育成会にとっては、会

るお昼近くから雨。それで

の班を六班編成し、何をす

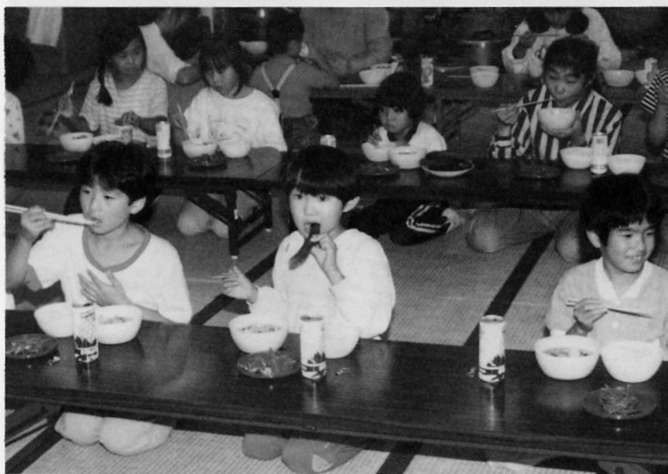
雨の中自分でトーチを作る

寝。コウフンしてなかなか

発展の礎となつてほしいものです。



▲火に腰がひけてる!?



▲夕食は静かに。きゅうりにかぶりつき



▲ほぼ全員で記念撮影?

# 日本生命財団より和太鼓助成

## 伝統文化の継承活動活発に

金木町子ども会育成連合

会（西村万吉会長）が七月十五日、日本生命財団より和太鼓六個（五十四万円相当）を助成されたことを記念して、このほど喜良市生活改善センターに町子連幹部や町長、教育長が出席して、「児童少年の健全育成助成金」受領祝賀会が催された。

この和太鼓は、財団からの助成が決まった際に、近年盛んになってきている子どもたちの伝統文化（春には豊作を祈願する「さなぶり、獅子、荒馬虫おくり」があり、夏には地域住民が総出のねぶた運行など）への思い入れや継承活動をふ

まえて申請、受理されたものです。このためにどの子ども会でも使用することができ、今後町の伝統文化は後継者難に泣かされることなく発展していくのではないかと町子連幹部たちは喜んでいました。

和太鼓を使ったこれからの活動としては、十一月十七日、町中央公民館で開催される「西北五子どもの祭典」に金木地区の子ども会が「子どもさなぶり荒馬」が披露される。

祝賀会では、西村会長が「これから子どもたちの行事におおいに使っていきま

す」と挨拶、続いて町長、教育長が「積極性があるものには助成を惜しまない。太鼓の皮が速く破れるほど使って欲しい」とお祝いの言葉を述べた。

▲太鼓の打ち初め



# 澄みわたる吹奏楽の調べ

## 第13回西北五地区吹奏楽祭

吹奏楽にいそしんでいる人たちが、日頃の練習の成果を披露する、第十三回西北五地区吹奏楽音楽祭が七月二十八日、金木中学校体育館で開かれた。

音楽祭に参加したのは鶴田中学校、金木南中学校、五所川原第一中学校、金木中学校、五所川原高等学校、木造高等学校の六校と五所川原吹奏楽団の各団体。

演奏に先立ち平川亮司西北五地区会長（金木中学校長）が「音楽を通して自己を表現することをお互いに学びあい、実り多い音楽祭にして欲しい」と挨拶。

また古川教育長が「音楽は感情が表にしやすいもの

青森県は、首都圏で働く本県出身Uターン希望者を対象に、県内Uターン採用

## 青森県Uターンフェア開催

Uターンを希望する方のいるご家族は、ご本人に参加を呼びかけてください。

二、場所 東京都中野区中野四一

一、日時 平成三年九月二十二日（日曜日）

一―一（中野駅前）『サンブラザ』

（十一階毎月）



# まわし姿まろろくく「はっけよい」

## 嘉瀬小学校校内相撲大会

先輩に続けとばかり、嘉瀬小学校恒例の校内相撲大会が、七月十九日肌寒く小雨降る中で開かれた。

この相撲大会は、全校児童が参加するもので、相撲で勇名を馳せている嘉瀬小学校の伝統の下地はこんなところに。

男子児童は屋外の土俵で

の取り組みで、初めてまわしをつける一年生の姿がりりしく遅くうつつた。しかし本格的に相撲を取ったことがないせいか、土俵上では戸惑うことも。二年生以上になるとさすがに堂に入ったもので、まともに頭からぶつかっていったりと見てるほうがハラハラ。

また女子は、体育館の中

にマットを敷いた特設土俵の上で膝をついての「まわり相撲」。こちらはがっぶり四つとなるため、なかなか勝負がつかず力感あふれて汗だく。

当日は雨天にもかかわらず、土俵脇の特設テント棧敷きには多勢の父兄が応援にかけつけ、『嘉瀬小学校場所』がおおいに賑わった。☆入賞者は次の通り。

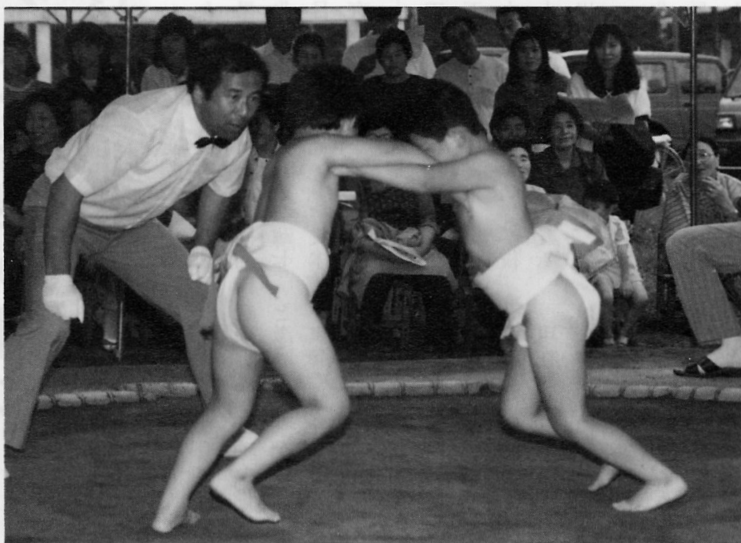


▲がっぶり四つの大相撲

▽二年			▽一年		
第一位	黒川史浩	第一位	佐藤弘行	第一位	中村友哉
第二位	松川剛大	第二位	嶋島祥太	第二位	嶋島祥太
第三位	木下雄大	第三位	小松勝彦	第三位	嶋島祥太

▽三年			▽二年			▽一年			▽女子		
第一位	乗田義孝	第一位	澤田優子	第一位	成田顕恵	第一位	松川健吾	第一位	松川健吾	第一位	松川慎吾
第二位	鳴海博一	第二位	秋村優子	第二位	澤田香緒里	第二位	松川兼吾	第二位	松川健吾	第二位	鎌田孫文
第三位	黒川真裕	第三位	澤田加奈子	第三位	山本杏紗	第三位	山本杏紗	第三位	山本杏紗	第三位	山本杏紗

▽四年			▽三年			▽二年			▽一年		
第一位	斎藤郁美	第一位	澤田ゆかり	第一位	成田和歌子	第一位	松川聡佳	第一位	成田和歌子	第一位	成田和歌子
第二位	阿部光	第二位	山由嘉	第二位	伊藤愛里	第二位	成田和歌子	第二位	成田和歌子	第二位	成田和歌子
第三位	小松貴子	第三位	鳴海敬子	第三位	小松和歌子	第三位	成田和歌子	第三位	成田和歌子	第三位	成田和歌子



▲一年生どうしの押しあい

# 学校部活動紹介

## 喜良市小学校陸上部 金木南中学校男子卓球部

ぼく達、陸上部は、大会が近くなると各学級から足が早い人を選び、大会に出ます。

今年も、参加者が多く、みんな、力を合わせて頑張っています。練習は、雨天の日は、体育館、晴天の日は、グラウンドで練習を行います。練習活動は、もも上げ、スキップ走、グラウンド二周、小刻み走、ダッシュ、大また走などです。陸上の練習が終わると17時ごろになっています。

大会出場は、リレーの成績が、とてもよかったです。芦野陸上大会は、予選が一位、決勝では四位の入賞でした。中里で行われた、リレーカーニバルでは、決勝に残って北郡の代表に選ばれて、県大会出場。県ではさすがに足が速い人が、たくさんいて、ぼく達では、全く相手になりませんでした。

百メートルでは、五年生の大橋央明君、走り幅跳びでは、六年生の原田司子さんが、とてもよく活やくしてくれました。他の人も、よくがんばっています。



来年は、今年よりもっとよい成績を出してほしいです。

喜良市小学校  
陸上部部長 大橋架早男

われわれ、男子卓球部は中体連では、三、四回戦までしか、勝ち進めなかった。新人戦では、一人でも賞にはいるようにしたいと思います。

練習では、フットワーク打ち合い、ツッツキ、バック打ち、速攻攻撃、その後の模擬試合をやって、実戦での実力をつけるようにがんばっています。

金木南中学校  
男子卓球部 古川真司

